

Dell Command | Update

バージョン 2.0 ユーザーズガイド



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

Copyright © 2014 Dell Inc. All rights reserved. この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2014 - 04

Rev. A00

目次

1 本書について	5
新機能.....	5
2 セットアップ	7
概要.....	7
対応オペレーティングシステム.....	7
サポートされている Dell システム.....	7
Dell Command Update のインストール.....	7
アンインストール Dell Command Update.....	8
Dell Command Update のアップグレード.....	8
サイレントインストール.....	8
アクティビティログ.....	9
アクティビティログの表示とエクスポート.....	10
3 Dell Command Update — はじめに	11
ヘッダバナー.....	11
左側ペイン.....	12
ようこそ画面.....	12
詳細ドライバ復元.....	12
4 Dell Command Update の使用	15
ドライバライブラリのダウンロードとインストール.....	15
アップデートのチェックとインストール.....	16
アップデートの選択.....	17
アップデートのカスタマイズ.....	17
依存関係のインストール.....	18
非表示のアップデート.....	18
使用可能なアップデートのリストからのアップデートの削除.....	19
使用可能なアップデートのリストへのアップデートの復元.....	19
アップデートの履歴.....	19
システム復元.....	19
アップデートの履歴の表示.....	19
システム情報の表示とエクスポート.....	20
Dell Command Update コマンドラインインタフェースオプション.....	20
CLI リファレンス.....	20
CLI スイッチの組み合わせの使用.....	22
5 Dell Command Update 設定	25

一般設定.....	25
アップデートチェックのスケジュール作成.....	26
アップデートフィルタ設定の実行.....	27
設定のエクスポートまたはインポート.....	27
ポリシーファイル.....	27
ポリシーファイルの作成.....	28
policy.xml ファイルデータの例.....	28
ポリシーファイルへの設定の追加.....	29
ポリシーファイルからの設定の削除.....	30
詳細ドライバ復元の設定.....	31
6 デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....	33
7 デルへのお問い合わせ.....	35

本書について

Dell Command | Update を使って Dell システムを最新のドライバ、BIOS、ファームウェア、および Dell ソフトウェアのアプリケーションでアップデートします。

本ガイドに加えて、参照用に必要なその他の製品ガイドがあります。これらは、Dell サポートウェブサイト dell.com/support/manuals にあります。

- 『ハードウェアオーナーズマニュアル』は、システム、システムコンポーネントのインストール、およびシステムのトラブルシューティングに関する情報を提供します。

新機能

本リリースでは、Dell Command | Update は次の機能を提供します。

- Dell Client System Update から Dell Command | Update への製品名の変更。
- **詳細ドライバ復元** 機能を使用することによる、オペレーティングシステム、ネットワークアダプタ、ネットワークドライバ、および Dell Command | Update を含むシステムでのベースドライバのインストールのサポート。
- パートナー開発キット (PDK) カタログ内に示されたコンポーネント間の依存性のアップデートのサポート。
- システム復元ポイントが作成されたときの通知。
- 使用を容易にするために合理化されたグラフィカルユーザーインターフェース (GUI)。

セットアップ


本項では、Dell Command | Update を使用するための前提条件および要件を説明しています。また、このツールの概要、インストールとアンインストールの手順を示します。

概要

Dell Command | Update は、Dell クライアントシステムを最新のドライバ、BIOS、およびファームウェアでアップデートする、使いやすいグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) およびコマンドラインインターフェース (CLI) ベースのツールです。これは 1 対 1 のスタンドアロンユーティリティです。

Dell Command | Update を使用する利点は次の通りです。

- Dell クライアントシステムのシステム管理とアップデートを単純化します。
- 使いやすい CLI で、ドライバインストールおよびアップデートの自動化に使用できます。
- 使いやすい GUI で、システムに適切なドライバとアップデートを識別して適用します。


 **メモ:** Dell Command | Update を実行するには、NET 4.0 またはそれ以降のバージョンが必要です。

対応オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 8.1 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 8 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows Vista (32 ビットおよび 64 ビット)

サポートされている Dell システム

- Dell OptiPlex
- Dell Latitude
- Dell Precision
- Dell Venue タブレット
- Dell XPS

 **メモ:** Dell Command | Update は、特定の Dell XPS システムしかサポートしません。

Dell Command | Update のインストール

手順を開始する前に、Dell Command | Update をインストールするクライアントシステムに管理者権限でログインしていることを確認してください。

Dell Command | Update をダウンロードしてインストールするには、次の手順を実行してください。

1. Dell Command | Update をダウンロード
 - a. **dell.com/support** にアクセスします。
 - b. Dell Command | Update 2.0 を検索します。
 - c. **Systems-Management_Application_H2CN6_WN_2.0.0_A00.exe** をダウンロードします。
2. Dell Command | Update をインストール
 - a. **Systems-Management_Application_H2CN6_WN_2.0.0_A00.exe** をダブルクリックします。
 - b. **インストール** をクリックします。
 - c. ようこそ 画面で、**次へ** をクリックします。
 - d. **ライセンス契約** 画面で、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択してから、**次へ** をクリックします。
 - e. **インストールの開始** 画面で、**インストール** をクリックします。
 - f. **インストール完了** 画面で、**終了** をクリックします。
 - g. **OK** をクリックします。

アンインストール Dell Command | Update

プログラムのアンインストールについての情報は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

Dell Command | Update のアップグレード

Dell Command | Update (以前の Dell Client System Update) 2.0 は、次の方法で、Dell Client System Update バージョン 1.x からアップグレードできます。

1. セルフアップデート：アップデートを調べるために **ようこそ** 画面で **チェック** 機能を使用します。詳細については、[アップデートのチェックとインストール](#) を参照してください。
2. 手動アップデート：**dell.com/support** から Dell Command | Update 2.0 をダウンロードしてインストールします。

新しいバージョンの Dell Command | Update がある場合、**推奨される** アップデートの下に最新バージョンの Dell Command | Update が表示されます。アップデートを選択して、アプリケーションの新しいバージョンをインストールします。Dell Command | Update

マイナーなアップグレードの場合は、すべての設定およびポリシー設定は保持されます。メジャーなアップグレードの場合は、アプリケーションがアンインストールされ、設定、およびデータが削除されます。

サイレントインストール

次の方法を使用して、Dell Command | Update のサイレントインストールを実行することができます。

- インストールコマンドラインを使ったサイレントインストールでは、コマンド **-DCU_Setup_2_0_0.exe/s/v/qn** を使用します。
- Dell Update Packages (DUP) を使用したサイレントインストールには、実行ファイル **Sys-Man_Application_XXXX_WN_y.y.y_A00.exe /s** (ここで「x」はソフトウェアのビルド、「y」はバージョン番号) を使用します。

アクティビティログ


アクティビティログ機能は、システムにインストールされたアップデートを表示し、障害や問題を追跡するために役立ちます。Dell Command | Update で生成されるアクティビティログは、次のレベルに分類されます。

- 通常 - 通常メッセージは、Dell Command | Update の通常モードが有効化されるとログファイルに作成されます。これらのメッセージは、アップデートに関する高レベルの詳細を提供します。
- デバッグ - デバッグメッセージは、Dell Command | Update でデバッグモードが有効化されるとログファイルに作成されます。これらのメッセージは、アップデートまたはエラーに関する詳細を提供します。

ActivityLog.xml は、システムの次の場所に XML 形式のテキストファイルとして保存されます：

- Microsoft Windows Vista 以降を搭載したシステムの場合 - C:\ProgramData\Dell\CommandUpdate

ログのルート要素には、システムにインストールされている製品の名前とバージョンが含まれます。ルート要素の下の子要素は次のように表示されます。

要素名	説明
<level>	アクティビティログレベルを示します。
<timestamp>	ログが作成された時のタイムスタンプを示します。  メモ: タイムスタンプの形式は Dell Command Update の設定に基づいています。
<source>	アプリケーションの操作を示します。  メモ: ソースの形式および内容は Dell Command Update の設定に基づいています。
<message>	ログエントリの詳細情報を示します。  メモ: メッセージの形式および内容は Dell Command Update の設定に基づいています。
<trace>	ログエントリの追加情報を示します。  メモ: この要素の形式および内容は Dell Command Update の設定に基づいています。
<data>	ログエントリの追加情報を示します。  メモ: この要素の形式および内容は Dell Command Update の設定に基づいています。

アクティビティログの表示とエクスポート

アクティビティログを表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ 画面で、**アクティビティログ** をクリックします。

アクティビティログ 画面が表示されます。

デフォルトでは、過去 7 日、15 日、30 日間、90 日、または、1 年間に実行されたアクティビティが表示されます。期間を設定するには、**表示** ドロップダウンから選択します。

2. **表示** ドロップダウンメニューから、Dell Command | Update がシステムで実行したアップデートを表示する日数を選択します。例えば、**過去 15 日** を選択すると、過去 15 日間に Dell Command | Update が実行したアップデートアクティビティを表示することができます。
3. (オプション) ログをクリアするには、**クリア** をクリックします。



メモ: この操作を元に戻すことはできません。

4. (オプション) **エクスポート** をクリックして、アクティビティログを XML 形式で zip ファイルにエクスポートします。その zip ファイルには、**inventory.xml** ファイルも格納されます。

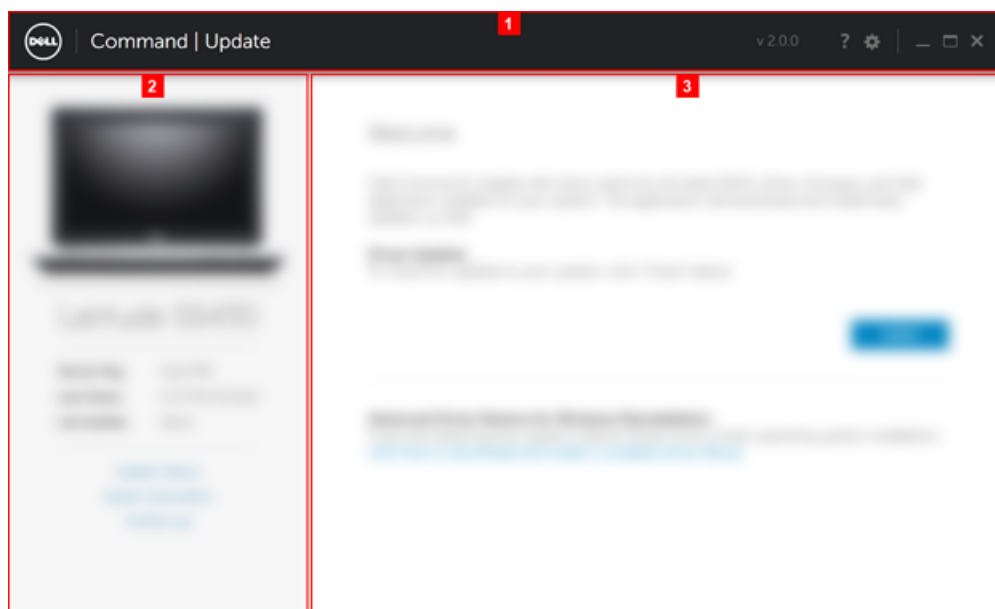
メッセージのエントリの横に、**情報** アイコンが表示されます (例: アプリケーションのエラーメッセージ)。このアイコンをクリックすると、メッセージログエントリに関する詳細情報が表示されます。この情報は、エクスポートされたログファイルでも利用できます。エラーまたは障害のログエントリの隣に、**警告** アイコンが表示されます。



メモ: 新しいバージョンが使用可能な場合、**inventory.xml** ファイルが **dell.com/support** からアップデートされます。

5. 日付、メッセージタイプ順に列の順序を変更または並べ替えるには、**▼** (日付 または **メッセージ**の横) をクリックします。
6. **保存** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックして前回保存された設定に戻します。
7. **閉じる** をクリックすると、**ようこそ** 画面に戻ります。

Dell Command | Update – はじめに



Dell Command | Update 画面は次で構成されています。

1. ヘッダバナー
2. 左側ペイン
3. ようこそ画面

ヘッダバナー

ヘッダバナーには、製品の名前とバージョン番号、および様々なアクティビティのアイコンが含まれています。

表 1. ヘッダバナーのアイコン

アイコン	説明
?	各画面のヘルプを表示します（すべての画面の右上隅にあります）。
⚙️	設定 画面が表示されます。 設定 画面では、ダウンロードしたアップデートの保管場所、アップデートチェックのスケジュール、アップデートのカスタマイズなどの Dell Command Update オプションをカスタマイズできます。

アイコン	説明
—	アプリケーションを最小化します（すべての画面の右上隅にあります）。
□	アプリケーションを最大化します（すべての画面の右上隅にあります）。
×	アプリケーションを閉じます（すべての画面の右上隅にあります）。

左側ペイン

次の表に、左ペインにある使用可能なオプションとその説明を示します。

オプション	説明
システムモデル	Dell システムのイメージとモデルを表示します。
サービスタグ	システムの製造元によって提供された製品 ID です。
最後のチェック	システムが最後にアップデートをチェックした日時に関する情報を提供します。
最終アップデート	システムが最後にアップデートされた日時に関する情報を提供します。
アップデートの履歴	アップデートの履歴 画面が表示されます。詳細については、 アップデートの履歴 を参照してください。
システム情報	システム情報 画面が表示されます。詳細については、 システム詳細の表示とエクスポート を参照してください。
アクティビティログ	アクティビティログ 画面が表示されます。詳細については、 アクティビティログ を参照してください。

ようこそ画面

ようこそ 画面からは、アップデートをチェックしてインストールすることができます。詳細については「[アップデートのチェックとインストール](#)」を参照してください。

オペレーティングシステム、ネットワークアダプタ、および Dell Command | Update のインストールのみが含まれる新品または整備済みシステムに、ドライバをインストールすることもできます。詳細については「[詳細ドライバ復元](#)」を参照してください。

詳細ドライバ復元

Windows 再インストールのための詳細ドライバ復元 オプションを使用することにより、オペレーティングシステム、ネットワークアダプタ、ドライバ、および Dell Command | Update のインストールのみが含まれる新品または整備済みシステムにドライバをインストールすることもできます。詳細については、「[ドライブライブラリのダウンロードとインストール](#)」を参照してください。

詳細ドライバ復元対応ではないシステム

次の Dell システムは、詳細ドライバ復元非対応です。

- OptiPlex 330
- OptiPlex 740
- OptiPlex 745
- OptiPlex 755
- Precision 390
- Precision T1500
- Precision T3400
- Precision T5400
- Precision T7400

Dell Command | Update の使用

ドライバライブラリのダウンロードとインストール

ドライバライブラリを Dell システムにダウンロードしてインストールするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ 画面で **ここをクリックして完全なドライバライブラリをダウンロードしてインストール** をクリックします。

ドライバ復元の準備中 画面が表示されます。ドライバインストールタスクには、次のタスクが含まれます。

- コンポーネントのアップデートのチェック
- システムデバイスのスキャン
- システムドライバライブラリの検索
- ダウンロードの開始
- ドライバの解凍
- インストールの準備
- ドライバのインストール
- インストールの完了

このアクティビティを終了するには、**キャンセル** をクリックしてして **ようこそ** 画面に戻ります。

2. ドライバのインストール完了後、**閉じる** をクリックして **ようこそ** 画面に戻ります。

システムドライバの最新バージョンへのアップデートについての詳細は、「[アップデートのチェックとインストール](#)」を参照してください。

アップデートのチェックとインストール

アップデートをチェックして Dell システムにインストールするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ画面で、**チェック** をクリックします。

Inventory Collector は、自己完結型のアプリケーションで、デバイスのハードウェア情報を取得するのに使用されます。Inventory Collector は、BIOS、ファームウェア、およびドライバのインベントリステータスを収集します。インベントリステータスは XML 形式で提供されています。Inventory Collector は、インベントリモジュールをシステムのローカルドライブの一時的な場所にコピーし、ネットワーク接続が失われても、インベントリステータス収集が実行されるようにします。

- a. Dell Command | Update は、**ftp.dell.com** または設定したその他のソース場所に接続し、アップデートの有無をチェックします。
- b. **キャンセル** をクリックすると、アップデートをチェックせずに前の画面に戻ります。ソース場所の変更についての情報は、「[一般設定](#)」を参照してください。

アップデートの確認 タスクが開始し、**アップデートの確認** 画面が表示されます。

アップデートの確認 タスクには、次の内容が含まれます。

- コンポーネントのアップデートのチェック
- システムデバイスのスキャン
- 使用可能なアップデートのチェック

アップデートのチェック 画面には、システムスキャンの状態が表示されます。アップデートが見つかったら、Dell Command | Update によってアップデートをインストールするためのプロンプトが表示されます。

アップデートが見つからない場合は、**使用可能なアップデートが見つかりませんでした** 画面が表示され、システム上のデバイスが最新状態であることを示します。**閉じる** をクリックして Dell Command | Update を終了します。

設定したアップデートの可用性と設定に基づいて、No updates are available (アップデートは利用できません) というメッセージが表示されます。この No updates are available (アップデートは利用できません) というメッセージは、次のような場合に表示されます：

- デフォルトの **フィルタのダウンロード** 設定を使用し、アップデートがない場合。
- すべてのアップデートを非表示にすることを選択すると、このメッセージが表示されます。
選択のカスタマイズ 画面でアップデートを表示するには、**表示** をクリックします。**閉じる** をクリックして、**選択したアップデート** 画面に戻ります。

デフォルトの **フィルタのダウンロード** 設定をいっえに変更し、アップデートがある場合も、No updates are available (Based on the current 'Download Filter' preference settings) (アップデートが利用できません (現行の「フィルタのダウンロード」設定に基づいて)) というメッセージが表示されます。

アップデートが見つかった場合は、**選択したアップデート** 画面が表示されます。詳細に関しては、「[アップデートの選択](#)」を参照してください。

2. **カスタマイズ** をクリックして、システムにインストールするアップデートを選択します。**選択のカスタマイズ** 画面が表示されます。

- a. アップデートを非表示にしたり、以前に非表示だったアップデートを表示するには、**非表示のアップデートを表示** をクリックします。

b. **続行** をクリックすると、前の画面に戻ります。

詳細に関しては、「[アップデートのカスタマイズ](#)」を参照してください。

3. (オプション) アップデートのインストール後、Dell Command | Update に自動でシステムを再起動させるには、**システムを自動的に再起動する (必要な場合)** を選択します。
4. **インストール** をクリックして、選択したアップデートをシステムにインストールします。
5. インストール中、何らかの理由でアップデートを続行しない場合は、**キャンセル** をクリックしてアップデートをキャンセルし、**よろこ** 画面に戻ります。


 **メモ:** **キャンセル** をクリックしても、Dell Command | Update はすでに適用されたアップデートをロールバックしません。


新規または再生システムにアップデートをインストールするには、[詳細ドライバ復元設定](#)を参照してください。

アップデートの選択

よろこ画面で**チェック**をクリックすると、アップデートタスクのチェックが実行され、システムに使用可能なアップデートがあれば、**選択したアップデート**画面が表示されます。アップデートの概要は、update type <x of y, z MB size of the update>の形式で見出しの横に表示され、「x」がダウンロードしたアップデートの数、「y」は利用できるアップデート数、「z」は使用可能なアップデートのサイズ (MB) となります。重要度に基づいて、アップデートは、次のように分類されます。

- **重要なアップデート** - これらのアップデートは、システムの信頼性および可用性の向上のために重要です。
- **推奨されるアップデート** - これらのアップデートのシステムへのインストールは推奨されます。
- **オプションのアップデート** - これらのアップデートは、オプションのアップデートです。




 **メモ:** インストールする必要があるアップデートに、そのアップデートの中間バージョンが必要である場合は、アラートメッセージが表示されます。アップデートに複数のコンポーネント間における依存関係がある場合、Dell Command | Update はできるだけ最良のバージョンをインストールしますが、これは最新バージョンではないことがあります。このタスクでは、最新アップデートのバージョンをインストールするために、複数のアップデートサイクルが必要となります。詳細については、「[依存関係インストール](#)」を参照してください。

 **メモ:** 一部のアップデートの選択には、電源アダプタをシステムに接続する必要がある場合があります。

アップデートのカスタマイズ

選択したアップデート画面で、**カスタマイズ**をクリックして**選択のカスタマイズ**画面を表示します。この画面には、コンポーネントの名前、サイズ、およびリリース日などの詳細情報が他の情報とともに表示され、システムに適用するアップデートの選択に役立ちます。アップデートは、割り当てられた重大度に基づいて次のようにグループ化されます。

- **重要なアップデート (y の x、サイズ)** : システムで使用可能な重要なアップデートが表示されます。また、重要なアップデートの選択を変更します。アップデートには、以下の情報が含まれています。
 - アップデートの名前。
 - アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。
 - アップデートパッケージが最後にリリースされた日付を表示します。


- 中間のアップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細については、**詳細表示**にカーソルを移動します。ツールヒント  は、アップデートパッケージの詳細情報を提供します。
- **推奨されるアップデート (x/y、サイズ)** : システムに対する推奨アップデートを表示します。アップデートには、以下の情報が含まれています。
 - アップデートの名前。
 - アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。
 - アップデートパッケージが最後にリリースされた日付を表示します。
 - 中間のアップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細に関しては、**詳細表示**をクリックします。ツールヒント  は、アップデートパッケージの詳細情報を提供します。
- **オプションのアップデート (x/y、サイズ)** : システムに対するオプションのアップデートを表示します。アップデートには、以下の情報が含まれています。
 - アップデートの名前。
 - アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。
 - アップデートパッケージが最後にリリースされた日付を表示します。
 - 中間のアップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細に関しては、**詳細表示**をクリックします。ツールヒント  は、アップデートパッケージの詳細情報を提供します。

すべて選択 チェックボックスを選択して、すべてのアップデートをインストールします。

依存関係のインストール

Dell Command | Update はアップデートパッケージを使用してシステム用の最新アップデートを特定します。アップデートパッケージには、BIOS、ファームウェア、ドライバ、およびソフトウェアにおける機能拡張と変更が含まれています。ほとんどの場合、アップデートは自己充足型で、プレインストールと、該当する依存関係を実行します。システムにある既存アップデートが古いバージョンである場合、それを推奨バージョンにアップデートする前に、最近のバージョンにアップグレードする必要がある場合があります。推奨バージョンがインストールされるまで、Dell Command | Update を使用してアップデートのアップグレードをチェックすることができます。

たとえば、お使いのシステムにバージョン A01 の BIOS がインストールされており、アップデート用にバージョン A05 が使用可能であるとします。しかし、A05 にアップデートするには、まず最初にシステムをバージョン A03 にアップデートする必要があります。Dell Command | Update は、システムをバージョン A03 にアップデートしてから、バージョン A05 にアップグレードします。

 **メモ:** インストールするアップデートに依存関係がある場合、Dell Command | Update はアップデートプロセス中に重要アラートで通知を行います。


非表示のアップデート

非表示のアップデート 機能では、省略するアップデートを指定し、使用可能なアップデートのリストからそれらを削除することができます。非表示のアップデートは、**非表示アップデートの表示** チェックボックスを選択することによって、**選択のカスタマイズ** 画面で表示することができます。

次回スキャンの実行で特定タイプのアップデートを除外するには、**アップデートフィルタ** 設定を使用します。詳細については「[アップデートフィルタの設定](#)」を参照してください。


使用可能なアップデートのリストからのアップデートの削除

使用可能なアップデートのリストからアップデートを削除するには、次の手順を実行します。

1. **選択のカスタマイズ** 画面で、 をクリックします。
アップデートが使用可能なアップデートのリストから削除されます。このアップデートは、次回のシステムスキャン実行時には使用可能なアップデートのリストに表示されません。
2. **閉じる** をクリックして、**選択されたアップデート** 画面に戻ります。

使用可能なアップデートのリストへのアップデートの復元

使用可能なアップデートのリストにアップデートを復元するには、次の手順を実行します。

1. **選択のカスタマイズ** 画面で、 をクリックします。
アップデートが使用可能なアップデートのリストに復元されます。
2. **閉じる** をクリックして、**選択されたアップデート** 画面に戻ります。

アップデートの履歴


アップデートの履歴 画面では、これまでにシステムにインストールされたアップデートの詳細を表示することができます。この詳細は、コンポーネントの名前、コンポーネントの種類、アップデートされた日付、およびシステムで利用可能なコンポーネントの現在または最新のバージョンで構成されます。

アップデートのインストール時、Dell Command | Update は常に Dell アップデートと呼ばれる復元ポイントをオペレーティングシステム内に作成します。復元ポイントは、アップデートをシステムのファイル、インストールされたアプリケーション、および Windows レジストリに戻すために使用できるタイムスタンプです。復元ポイントのリストは、**システム復元** ウィンドウで表示することができます。

- Windows Vista、または Windows 7 オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、**スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **システムの復元** をクリックします。
- Microsoft Windows 8 または Windows 8.1 オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、**スタート** → **System** → **システムのプロパティ** → **作成...** を右クリックするか、画面右側の **検索** オプションに **System** と入力して、**システムの保護** → **システムのプロパティ** → **作成...** をクリックします。

システム復元

システムの復元 ウィンドウを使用しても、システムに行ったアップデートのバッチを元に戻すことができます。

-  **メモ:** BIOS またはファームウェアのアップデートは、ハードウェアに保存されるため、**システムの復元** ウィンドウを使用しても元に戻すことはできません。

アップデートの履歴の表示

アップデートの履歴を表示するには、次の手順を実行します。

1. **ようこそ** 画面で、**アップデートの履歴** をクリックします。
アップデートの履歴 画面が表示されます。
複数のアップデートが存在する場合は、各行の長さをそれぞれ変更して詳細を表示することができます。
2. **閉じる** をクリックして、**ようこそ** 画面に戻ります。

システム情報の表示とエクスポート

システム詳細を表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ画面で、**システム情報** をクリックします。
システムのドライバ、BIOS、アプリケーション設定を示した、**システム情報** 画面が表示されます。
2. **エクスポート** をクリックすると、システムの詳細が XML 形式で保存されます。
3. **閉じる** をクリックすると、ようこそ画面に戻ります。

Dell Command | Update コマンドラインインタフェースオプション

コマンドラインインタフェース (CLI) は、管理者がアップデートのために自動リモート展開インフラストラクチャを使用することを可能にします。コマンドラインインタフェースは基本オプションを提供し、アプリケーションの GUI バージョンがサポートする機能のすべては含まれません。

Dell Command | Update は、バッチおよびスクリプティングシナリオでの使用のために、アプリケーションのコマンドラインバージョンを提供します。CLI は完全自動化されており、インタラクティブなユーザープロンプトはありません。カタログの場所の設定、新しいポリシーファイルのインポート、デフォルトログの場所の変更などの基本的なランタイムオプションがコマンドラインパラメータとして提供されています。

CLI インタフェースを実行する： Dell Command | Update インストールフォルダから、コマンドプロンプトで `dcsu-cli.exe` を実行します。

どのオプションを使用できるかについての追加情報を表示する： Dell Command | Update インストールフォルダから、コマンドプロンプトで `dcsu-cli.exe -?` を実行します。

Dell Command | Update CLI は、実行完了後に次のリターンコードを提供します。

- 0=OK/ 成功
- 1= 再起動が必要です
- 2=致命的なエラー
- 3= エラー
- 4= 無効なシステム

`DCU-cli.exe` を実行すると、パラメータが提供されていない場合、デフォルトの動作で、利用できるアップデートを確認します。

CLI リファレンス



次の表には、Dell Command | Update で使用できる CLI オプションについての情報がリストされています。

CLI 構文は次のとおりです。

`dcsu-cli.exe <option1> [<value1>] <option2> [<value2>]...`

表 2. CLI リファレンス

CLI オプション	説明	構文
/?	すべての CLI オプションの使用方法を印刷する	dcu-cli.exe /?
	 メモ: その他すべてのオプションは /? で無視されます。	
/catalog	リポジトリとカタログファイルの場所を設定します。<value> はログディレクトリのパスです。/catalog パラメータは、パスのリストを受け入れず、単一のパスのみを受け入れます。 複数のパスを含める場合、例えばバックアップの場所を持つ場合は、/policy オプションを使用します。	dcu-cli.exe /catalog \ \MyServer \MyRepositoryShare \MyCatalog.xml マップされたドライブの場合 :dcu-cli.exe /catalog \\Z: \MyRepositoryFolder \MyCatalog.xmlMyServer \MyRepositoryShare \MyCatalog.xml
/help	/? と同じ結果	dcu-cli.exe /help
/log	ファイルディレクトリを設定します。<value> はログディレクトリのパスです。	dcu-cli.exe /log C:\logs
/policy	1 回の実行時間の長さに対する設定を決定するポリシーファイルを指定します。<value> はポリシーのパスです。 ポリシーファイルには、1 つ、または複数の CLI のパスを含めることができます。	dcu-cli.exe /policy C: \temp\MyPolicy.xml
/import	ポリシーファイルをインポートします。ファイルを指定するには、policy オプションが必要です。	dcu-cli.exe /import/ policy C:\temp \MyPolicy.xml
	 メモ: この構文は、他のオプションと組み合わせて使用することはできません。	
/reboot	自動的にシステムを起動します (1 つ、または複数のアップデートによって必要とされる場合)	dcu-cli.exe /reboot
/report	使用可能なアップデートのみのレポートを XML フォーマットで作成します (アップデートは実行されません)。<value> はレポート出力ファイルのパスです。	dcu-cli.exe /report C: \report.xml

CLI オプション	説明	構文
/silent	CLI オプションをサイレントに実行します (状態出力は表示されません)。	dcu-cli.exe /silent
/hidden	現在の非表示アップデートのリストを表示します。  メモ: この構文は、他のオプションと組み合わせて使用することはできません。	dcu-cli.exe /hidden
/driverRestore	ドライバの再インストールを有効にします。ローカルの CAB ファイルを使用するには、cab パスを指定します。  メモ: パスが指定されていない場合、Dell Command Update はシステム設定に固有の Dell cab ファイルを使用します。Dell	/driverRestore または /driverRestore cab パス <path_to_cab>

コマンド例

- リポジトリまたはカタログファイルの場所を設定する場合

```
<c:\catalog.xml>:dcu-cli.exe /catalog c:\catalog.xml
```
- 新しいポリシーファイルをインポートする場合

```
<c:\log.txt>: dcu-cli.exe /policy c:\log.txt
```

CLI スイッチの組み合わせの使用

次の表には、Dell Command | Update CLI の各種スイッチが組み合わせられたときに予測される動作がリストされています。

表 3. Dell Command | Update CLI スイッチの組み合わせマトリックス

	/reboot	/silent	/log	/catalog	/import	/policy	/report	/hidden	/driverRestore
/reboot	✗	✓	✓	✓	✗	✓	✓	✗	✓
/silent	✓	✗	✓	✓	✗	✓	✓	✗	✓
/log	✓	✓	✗	✓	✗	✓	✓	✗	✓
/catalog	✓	✓	✓	✗	✗	✓	✓	✗	✗
/import	✗	✗	✗	✗	✗	✓	✗	✗	✗

	/reboot	/silent	/log	/catalog	/import	/policy	/report	/hidden	/driverRestore
/policy	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✓	✗	✗
/report	✓	✓	✓	✓	✗	✓	✗	✗	✗
/hidden	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗
/driverRestore	✓	✓	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗

✓ - スイッチの組み合わせがサポートされていることを示します。

✗ - スイッチの組み合わせがサポートされていないことを示します。


Dell Command | Update 設定

設定 画面で、ダウンロードおよび保存のための場所、アップデートのフィルタオプション、アップデートのダウンロードスケジュール、インターネットプロキシ、設定のエクスポートまたはインポート、およびドライバライブラリのダウンロード場所の、設定およびカスタマイズを行うことができます。この画面には、次のタブがあります。

- アップデートをダウンロードおよび保存する場所、インターネットのプロキシ設定の設定および変更に関しては、「[一般設定](#)」を参照してください。
- システムのアップデートに関するスケジュールの設定の詳細に関しては、「[アップデートチェックのスケジュール作成](#)」を参照してください。
- スケジュールされたアップデートの変更およびフィルタリングオプションの保存に関しては、「[アップデートフィルタの設定](#)」を参照してください。
- 設定のインポートおよびエクスポートの詳細に関しては、「[設定のインポート / エクスポート](#)」を参照してください。
- ドライバライブラリのダウンロード場所の設定については、「[高度なドライバの復元設定](#)」を参照してください。

一般設定




一般 設定 タブで、アップデートを保存する場所、アップデートをダウンロードする場所を変更し、さらにインターネットのプロキシ設定を構成または変更することができます。一般設定を行うには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
Settings (設定) 画面が表示されます。
2. **ダウンロードファイルの場所** で、**参照** をクリックして、ダウンロードしたアップデートを保存するためのデフォルトの場所を設定するか、デフォルトの場所を変更します。
 **メモ:** Dell Command | Update は、アップデートのインストール後、この場所からアップデートファイルを自動的に削除します。
3. **アップデートのソースの場所** の下で、**新規** をクリックして、アップデートをダウンロードする場所を追加します。
ダウンロードの場所が複数ある場合は、各エントリの矢印を使用してエントリを並べ替えて、優先順を指定できます。
4. **インターネットプロキシ** で、以下のいずれかを実行します。
 - **現在のインターネットプロキシ設定を使用** を選択して、システムで使用可能な現在のインターネットプロキシ設定を使用します。
 - **カスタムプロキシ設定** を選択し、プロキシサーバーおよびポートを設定します。
5. **カスタムプロキシ設定** を選択し、かつプロキシ認証を使用する場合は、**プロキシ認証を使用** チェックボックスを選択して、ユーザー名とパスワードの資格情報を入力します。
6. **Ok** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **ようこそ** 画面に戻ります。

-  **メモ:** Dell Command | Update が対話型実行で動作している場合、設定時刻後にスケジューラがアップデートをチェックするには Dell Command | Update を閉じる必要があります。これは、一度に実行できるのが 1 インスタンスのアプリケーションのみであること、およびスケジューラインスタンスが対話型インスタンスにブロックされるからです。


アップデートチェックのスケジュール作成

システムのアップデートを自動でチェックするように Dell Command | Update を設定することができます。アップデートをチェックするためのスケジュールを設定するには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**スケジュール** をクリックします。
3. **アップデートを自動的にチェックする** → **アップデートのチェック** で、次のいずれかを選択します。
 - **手動アップデートのみ** – 手動でアップデートをチェックする場合はこのオプションを選択します。この場合、Dell Command | Update はスケジュールされたアップデートを実行せず、このページのその他すべてのフィールドが非表示になります。
 - **毎月** – Dell Command | Update でアップデートを毎月チェックする場合は、このオプションを選択します。
 - **毎週** – Dell Command | Update でアップデートを毎週チェックする場合は、このオプションを選択します。
 - a. **時刻の選択** で、Dell Command | Update がアップデートをチェックする時刻を選択します。
 -  **メモ:** 時刻および日付は、**毎週** および **毎月** オプションのみで選択することができます。
 -  **メモ:** Dell Command | Update は、このフィールドに設定された時刻から 30 分以内に、ランダムな間隔でアップデートをチェックします。
 -  **メモ:** 設定時刻後は、スケジューラによるアップデートのチェックのために Dell Command | Update を閉じる必要があります。
 - b. **日付の選択** で、Dell Command | Update がアップデートをチェックする日を選択します。

たとえば、毎月 1 日の午前 10 時に でアップデートをチェックさせる場合は、**アップデートのチェック** で **毎月** を選択し、**時刻の選択** で **10:00 AM**、**日付の選択** で **1** を選択します。Dell Command | Update
4. **アップデートが見つかったとき** で、アップデートが見つかったときに Dell Command | Update が実行する必要があるタスクを次から 1 つ選択します。
 - 通知のみ (アップデートがある場合)
 - アップデートをダウンロード (インストール準備が完了したら通知)
 - アップデートをダウンロードしてインストール (完了後に通知)
5. **アップデートをダウンロードしてインストール (完了後に通知)** を選択した場合は、システムを自動的に再起動するまでの時間を選択します。
6. **Ok** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。


アップデートをチェックするアクティビティをスケジュールした後でアップデートが使用可能になると、アップデートのリストが **インストールの準備完了** 画面に表示されます。

 -  **メモ:** スケジュールされたタスクを実行するには、Dell Command | Update を終了する必要があります。

アップデートフィルタ設定の実行

アップデートフィルタ タブで、アップデートのダウンロードおよび表示のためのフィルタを構成することができます。

アップデートフィルタ設定を行うには、次の手順を実行します。


1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
 2. **設定** 画面で、**アップデートフィルタ** をクリックします。
 3. **ダウンロード対象** から次のいずれかのオプションを選択します。
 - **このシステム設定のアップデート（推奨）** – このオプションを選択して、お使いのシステムの設定に固有のアップデートをダウンロードします。
 - **システムモデル向けの全アップデート** – このオプションを選択して、システムモデルがサポートする全デバイスのアップデートをダウンロードします。
-  **メモ:** システムモデル向けの全アップデート オプションを使用してダウンロードされたアップデートには、お使いのシステムに適用されないものがある場合があります。
4. **アップデートのカスタマイズ** で、アップデート推奨レベル、アップデートのタイプ、デバイスカテゴリを選択します。
 5. **Ok** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこそ** 画面に戻ります。

設定のエクスポートまたはインポート

インポート/エクスポート 設定タブでは、構成設定を XML ファイル形式で保存することができます。XML ファイルを使用することにより、設定を別のシステムに設定を転送したり、設定を別のシステムからインポートすることもできます。これらの XML ファイルを使用して、組織内の Dell Command | Update インストールインスタンスすべてのために共通の構成設定を作成することができます。

構成設定をインポートまたはエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**インポート/エクスポート** をクリックします。
3. **設定のエクスポート** をクリックして、システムの Dell Command | Update 設定を XML 形式で保存します。この後、この XML ファイルを使って、設定を別のシステムにエクスポートすることができます。
4. **設定のインポート** をクリックして、以前にエクスポートされた設定の XML ファイルから Dell Command | Update 設定をインポートします。
5. **Ok** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこそ** 画面に戻ります。

 **メモ:** デフォルトの復元 機能を使っても、ポリシーファイルのアップデートは元に戻りません。

ポリシーファイル

ポリシーファイルでは、管理者がプログラム設定をロックして、他のユーザーが変更できないようにすることができます。ポリシーファイル内にプログラム設定が指定されていると、関連する設定が GUI で無効化されます。


ポリシーファイルの作成


ポリシーファイルを作成するには、次の手順を実行します。

1. サンプルシステムでスケジュール、プロキシ、およびフィルタなどの Dell Command | Update 設定を行った後、**設定のエクスポート** を使用してその設定をエクスポートします。設定のエクスポートについての詳細は、「[設定のインポート/エクスポート](#)」を参照してください。

これらの設定は、後ほど policy.xml ファイルとして設定したいクライアントシステムにインポートすることができます。

2. エクスポートした設定ファイル名を **policy.xml** に変更します。
3. **policy.xml** ファイルを開き、それを見直してロックしたい属性のみが含まれている事を確認します。必要以上の設定がロックされている場合は、エクスポートした **policy.xml** ファイルからいくつかの設定を削除する必要が生じる場合があります。このファイルは、Dell Command | Update が使用できるようにインストールディレクトリに設置するようにしてください。
4. **policy.xml** ファイルを Dell Command | Update インストールディレクトリに設置し、アプリケーションを起動します。

 **メモ:** Dell Command | Update はポリシーデータをロードしてポリシーファイルを削除するので、**policy.xml** ファイルは使用する前に別の場所に保存してください。保存したポリシーファイルは、ポリシー設定の変更に使用することができます。

 **メモ:** ファイルを **policy.xml** と命名し、インストールディレクトリに設置することは、Dell Command | Update がそのファイルをインポートするポリシーファイルとして認識するために必須です。

policy.xml ファイルデータの例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-16"?> <dellcommandupdate version="1.0"
doctype="settings"> <setting name="filtercriticality_urgent">True</setting>
<setting name="scheduledexecution">On</setting> <setting
name="scholeddays">1</setting> <setting name="scholeddminute">0</setting>
<setting name="filterapplicable">ShowAllForPlatform</setting> <setting
name="scholeddhour">12</setting> <setting name="scholeddfrequency">Monthly</
setting> <setting name="automationmode">ScanNotify</setting> </
dellcommandupdate>
```


ポリシーファイルへの設定の追加


ポリシーファイルに設定を追加するには、次の手順を実行します。

1. 保存した policy.xml ファイルを XML エディタで開き、有効な名前と値で新しい <setting> エレメントを追加します。

値の設定については、「[設定と適用される値](#)」を参照してください。例: <setting name="sceduledminute">30</setting>

2. ファイルを XML ファイルとして保存して Dell Command | Update インストールディレクトリ内に設置し、アプリケーションを起動します。

 **メモ:** Dell Command | Update はポリシーデータをロードしてポリシーファイルを削除するので、**policy.xml** ファイルは使用する前に別の場所に保存してください。保存したポリシーファイルは、ポリシー設定の変更に使用することができます。

 **メモ:** ファイルを **policy.xml** と命名し、インストールディレクトリに設置することは、Dell Command | Update がそのファイルをインポートするポリシーファイルとして認識するために必須です。

設定と適用される値

設定	適用される値
AutomationMode	ScanNotify または ScanDownloadNotify または ScanDownloadApplyNotify または ScanDownloadApplyReboot
AutoReboot	True または False
AutoRebootSystemWait	15、30、または 60
Catalog	<カタログファイルへのパス>
DownloadPath	<ダウンロードディレクトリへのパス>
DriverCabPath	<ドライバ cab へのパス>
FilterApplicable	ShowAllForPlatform または ShowOnlyForSystemConfig
FilterCriticality_Optional	True または False
FilterCriticality_Recommended	True または False
FilterCriticality_Urgent	True または False
FilterDeviceCategory_Audio	True または False
FilterDeviceCategory_Chipset	True または False
FilterDeviceCategory_Input	True または False
FilterDeviceCategory_Network	True または False
FilterDeviceCategory_Other	True または False
FilterDeviceCategory_Storage	True または False
FilterDeviceCategory_Video	True または False

設定	適用される値
FilterUpdateType_Application	True または False
FilterUpdateType_Bios	True または False
FilterUpdateType_Driver	True または False
FilterUpdateType_Firmware	True または False
FilterUpdateType_Other	True または False
FilterUpdateType_Patch	True または False
FilterUpdateType_Utility	True または False
HiddenUpdatesList	アップデートのリリース ID をコンマで区切ったリスト
IsAdvancedDriverRestoreEnabled	True または False
ProxyAuthenticationEnabled	True または False
ProxyEnabled	True または False
ProxyPassword	UI でのユーザーエントリによって作成された暗号化パスワード
ProxyPort	ユーザー指定のプロキシポート値
ProxyServer	ユーザー指定のプロキシサーバー値
ProxyUserName	ユーザー指定のプロキシユーザー名
ScheduledDays	1~7
ScheduledExecution	Off または On
ScheduledFrequency	Weekly または Monthly
ScheduledHour	1~24
ScheduledMinute	1~60
ScheduledRebootWait	5、15、または 60

ポリシーファイルからの設定の削除

ポリシーファイルから設定を削除するには、次の手順を実行します。

1. 保存した policy.xml ファイルを XML エディタで開きます。
2. 削除する必要がある設定のエレメントタグを削除します。
例 : `<setting name="scheduledminute">30</setting>`

3. ファイルを XML ファイルとして保存して Dell Command | Update インストールディレクトリ内に設置し、アプリケーションを起動します。



メモ: Dell Command | Update はポリシーデータをロードしてポリシーファイルを削除するので、**policy.xml** ファイルは使用する前に別の場所に保存してください。保存したポリシーファイルは、ポリシー設定の変更に使用することができます。



メモ: ファイルを **policy.xml** と命名し、インストールディレクトリに設置することは、Dell Command | Update がそのファイルをインポートするポリシーファイルとして認識するために必須です。

詳細ドライバ復元の設定

詳細ドライバ復元 タブでは、新品または整備済みシステム用にドライバライブラリをダウンロードする場所を設定することができます。

詳細ドライバ復元設定を行うには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**詳細ドライバ復元** をクリックします。
3. **有効** をクリックして有効化、または **よろこ** 画面で **Windows 再インストールのための詳細ドライバ復元** オプションを無効化します。

この機能は、デフォルトで次のようになります。

- システムへの Dell Command | Update のインストール時に有効化されます。
- Dell Command | Update が工場出荷時にインストールされた場合は無効です。
- Dell Client System Update 1.3 から Dell Command | Update 2.0 にアップグレードすると、無効化されます。

システムでのドライバのインストール後、この機能は無効になります。


4. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - **Dell アップデート / サポートサイトからドライバライブラリをダウンロード (推奨) : dell.com/support** からドライバライブラリをダウンロードします。
 - **指定されたドライバライブラリを使用 :** ローカルまたはネットワークの場所からドライバライブラリをダウンロードします。**参照** をクリックして場所を指定します。
5. **Ok** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。

デルサポートサイトからの文書へのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- 次のリンクからアクセスできます。
 - すべてのシステム管理マニュアル - dell.com/softwaresecuritymanuals
 - エンタープライズシステム管理マニュアル - dell.com/openmanagemanuals
 - リモートエンタープライズシステム管理マニュアル - dell.com/esmmanuals
 - Serviceability Tools マニュアル - dell.com/serviceabilitytools
 - クライアントシステム管理マニュアル - dell.com/OMConnectionsClient
 - OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル - dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
 - OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル - dell.com/OMConnectionsClient
- デルのサポートサイトから、次を実行します。
 - dell.com/support/manuals にアクセスします。
 - サービスタグまたはエクスプレスサービスコードをお持ちですか? セクションの **いいえ** ですべてのデル製品のリストから **選択する** を選択し、**続行** をクリックします。
 - **お使いの製品タイプを選択してください** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
 - **お使いのデル製システムを選択してください - Software** セクションで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - * **クライアントシステム管理**
 - * **エンタープライズシステム管理**
 - * **リモートエンタープライズシステム管理**
 - * **Serviceability Tools**
 - マニュアルを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 次のように検索エンジンを使用します。
 - **検索** ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **dell.com/support** にアクセスします
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの上部にある 国 / 地域の選択 ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。